

九手連広報紙

はっけん

平成20年4月号

掲載内容

- ・ 平成20年度活動予定
- ・ お知らせ
- ・ 各県の活動状況
(各県の研修会、耳の日事業)

午前 10:00～12:00
講演「ろう問題について語る」
講師 早瀬 久美氏

午後 13:00～15:00
パネルディスカッション
「今後の手話サークルを考える(仮題)」
コーディネータ)中元会長
パネラー)福岡県聴障協3名、早瀬氏

【平成20年度 活動予定】

- ・九州手話サークル連絡協議会 理事会
6月20日(金)～6月21日(土)
(福岡県春日市)クローバープラザ
- ・平成20年度九州手話サークル連絡協議会
幹部会議及通信員会議
6月21日(土)
(福岡県春日市)クローバープラザ
- ・平成20年度九州手話サークル連絡協議会
評議員総会
6月21日(土)18:00～
(福岡県春日市)クローバープラザ
- ・第16回九手連研修会(前リー研)
日時 6月22日(日)10:00～15:00
場所 クローバープラザ 知-バ-ホール
(福岡県春日市)

【お知らせ】

- ・第36回全九州手話通訳者研修会
9月6日(土) (熊本)
- 開会式
共通講座 10:00～12:00
熊本学園大学高橋守雄記念ホール
「国連障害者の権利条約を学ぶ
～聴覚障害者関連を中心に～」
講師:東 俊裕氏
- 午後の部 13:00～15:00
熊本学園大学
「ろう者が望む手話サークル活動」
講師:伊藤 行夫氏
(全日本ろうあ連盟理事)
- 午後の部 15:00～17:00
熊本学園大学
「頸肩腕検診までのサークル活動」
講師:瀬口 和子氏
(大分県中津手話サークル さつき)

九州手話サークル連絡協議会

(事務局) ☎866-0892

熊本県八代市古閑下町1717-43

前瀬 洋一 0965-35-2653

発行責任者:中元 教博

広報担当者:塩屋 壽子(鹿児島)

発行年月日:平成20年4月29日

【各県の活動状況】

熊本県

地域福祉基金助成事業
～聴覚障害者が地域で生き生きとくらすために～
「DVDを活用したモデル事業」を開催

日時:平成20年3月9日
(日)13:00～16:30
場所:熊本県菊池郡大津町
(オークスプラザ)

DVD制作報告「聴覚
障害者を理解するための
DVD」
パネルディスカッション
行政説明



自立支援法の施行に伴い、国から各市・町村に福祉事業の主体が変わり、今まで福祉に関わりのなかった人達とその業務を遂行されることになりました。そこで、「聴覚障害」を正しく知って理解を深めてもらうために「聴覚障害とは」「支援システム」「事業所」「社会生活」など知りたい情報を素早く選択し見ることが可能なDVDを製作し、実物を使っての紹介がありました。

パネルディスカッションでは、地域で生き生きと暮らすために行政に望むこと、設置通訳のメリット、手話通訳者・要約筆記者の人材育成をどうするかなど5人のパネリストの方々から、いろいろな意見や要望が出されました。

地元で暮らしておられる障害者一人ひとりが社協との関わりを強くしながらよりよいサービスが受けられるように出していくことがとても大事だと思いました。

宮崎 澄代(菊池わかぎ)



熊本県「耳の日ふれあい 08」
平成20年3月16日(日)
場所:熊本学園大学 高橋守雄記念ホール
内容:

10:00～12:00

講演「手話の魅力語る」

講師 早瀬 憲太郎氏

13:00～15:00

早瀬 憲太郎氏を囲んでのトークショー

サークルの人に勧められ、軽い気持ちで参加しました。見てびっくり、早瀬憲太郎さんってNHK「みんなの手話」の講師でした。印象に残っている話は子どもの時母親が電話での会話を手話を交えて話されていたとのこと。なかなかできることではありません。祖父母との手話でのやりとり、妹さんの助言、必ず誰か支えてくれる素晴らしい家族だと思いました。

夢はお母さんと一緒に体操のお兄さんになることだったとかわいい一面があり、ろう教育の話題になると、熱く語られる講演会でした。



杉本博子(八代わかぎ)

福岡県

福岡県 第37回耳の日記念集会

2008.3.2(日)

於：北九州市・ウエル戸畑

講演：大矢暹氏「人権と共生について考える」

アトラクション：手話狂言

抽選会

3月2日(日)北九州市・ウエル戸畑にて第37回耳の日記念集会が開催されました。

講師は、3・3声明(昭和40年、ろう教育・ろうあ運動における教育保障そして民主化運動の話)で有名な大矢暹氏をお迎えして、テーマ「人権と共生について考える」の講演でした。現在、特別養護老人ホーム「ふくろうの郷」の施設長をされています。講演では阪神淡路大震災後の高齢ろうあ者の話や施設建設に至った経過、そして行政交渉、聴覚障害者と健聴者一緒になって資金集めをした話など、事例を基にわかりやすく話して頂きました。



人権の立場から、不就学ゆえに同じ聴覚障害者の仲間からも疎遠となり、大切な家族からも見放され最終的に精神病院に入れられ、50年以上も病院生活を強いられた方、聴覚障害者同士の結婚を親族から反対され断種を強要された方など胸がつまる思いでした。こんな平和な世の中に、私たちの知らない悲しい事実があったことを知り、ふくろうの郷に入所することが出来て本当によかったなあと思いました。福岡には養護老人ホーム「田尻苑」がありますが、入所待ちの人も多いと聞きますし、特別養護老人ホーム建設は悲願に近いものを感じました。

時に大矢さんが来福の前日に兵庫では、県の福祉予算削減に反対する「耳の日記念県民アピール集会」を行いデモ行進して県民に理解を求めたとのことでした。いつも優しく温和なイメージの大矢さんですが、厳しい一言と仲間を思う心底の優しさを見た想いがしました。



アトラクションでは「手話狂言」があり、昔からの伝統ある狂言を手話でどのように表現するのかとても楽しみでした。本格的なセットで、さらに内容が見てわかる方法で、是非もう一度拝見したいと思いました。最後のお楽しみ抽選会は外れて残念でしたが、来年もまた耳の日集会に是非参加したいと思いました。

北九州市手話の会 角光 邦子

大分県

3月9日(日)大分市にて第40回「耳の日記念」大分県ろうあ者福祉大会が、800名の参加を得て盛大に行われました。午前の大会式典の後、午後からは、熊本でご活躍中の手話キャスター野田尚子さんのご講演、ろうあ児施設あけぼの学園児童による手話劇「おおかみと7匹の子ヤギ」(神田理事も出演!!)、中津ろう者劇団「ひまわり」による手話劇等々、多彩なアトラクションに、会場は笑いあり、涙?!ありの盛り上がり、最後は、今年大分で行われる国体・全国障害者スポーツ大会のマスコットキャラの「めじろんダンス」を会場参加者全員で踊り大盛況で終わりました。本当に充実した一日でした。



宮崎県

宮崎県手話サークル連絡協議会（県サ連）では、例年恒例の研修会を去る2月3日に宮崎県小林市社会福祉センターで行いました。この講習会は毎年テーマを決め、県北・県央・県南に分けたブロックで持ち回り開催しています。

今回は第27回目で、「障がい者の消費トラブル」という内容で行いました。講師を都城市消費生活センターの二見由美子氏にお願いし、いろんな消費者トラブルの種類・手口・解決法など90分にわたり講演して頂きました。途中質問の時間も設けていただき、参加したサークル員やろうあ者にとって、有意義な講習会になったと思います。



長崎県

『第39回 耳の日記念集會に参加して』

3月2日、西海パールシーセンターで行なわれた「耳の日集會」。

今回は、貸し切りバスに、ろう協会員とサークル会員、子どもも合わせて36人が乗り込み、楽しくバスハイク気分で出かけました。アトラクションはどれも素晴らしかったのですが、いちばん印象に残ったのは、田中良彦先生による記念講演でした。テーマは『ぼくたちの仕事 ~命に学ぶこと~』。ギターが用意され、さぞや楽しい講演だろうと思いきや、その内容は、教え子の自殺というとても辛く悲しい出来



事を通して、命の大切さや儚さを考えさせられるものでした。ときおり響くギターの弾き語りに、こらえていた涙を抑えることができませんでした。心に残る大会でした。

（長崎県 .K.S ）

『県手連主催研修会に参加して』

サークルの会長より「今回は、ビッグなゲストです。みなさん、ぜひ行きましょう！」と言われ、雨の中、車を走らせて大村競艇場・・・ではなくて、シーハットの方へ行きました。やはり会長の言ったことは、うそではありませんでした。そこには、テレビでおなじみの顔があり、専属の通訳付きです。通訳の若い女性は、午前2時間、午後2時間の、計4時間を一人で読み取り通訳されました。すごい！講演では、ホワイトボードに健聴者の社会とろう者の社会を表す円を二つ描かれ、サークルなどの組織がどの場所にあるものかを聴いている私たちに尋ねながら記入されました。それから、ろう者側に立つ重要性をいろいろな例を用

いて説明され本当に、勉強になりました。午後からは、ワークショップです。「代表の方にこの壇上に上がってもらってスピーチをしてもらいます。」の声とともにパット下を向く……。私以外もみんな視線をはずしたらしく、結局実践はなしで、午前と同様講演で終わりました。とにかく有意義な一日でした。

(長崎県 S.H)



県手連主催の研修会は、年に二度行なっています。19年度は3月30日(日)『魅力あるサークルを目指して ～～』というテーマで、午前中講演・午後からワークショップを行ないました。講師には、あの有名な「米内山明宏氏」をお迎えしました。

佐賀県

3月9日日曜日、佐賀県唐津市浜玉町「ひれふりランド」にて第49回「耳の日記念の集い」が開催されました。式典では唐津市長が全て手話で挨拶されました。市長自ら語る手話(はなし)に参加者全員が注目し、会場は水を打ったような静けさでした。



記念講演は皆さんご存知の早瀬憲太郎・久美様ご夫婦。

まず久美様が薬剤師の立場から誤解されやすい手話表現と新しい手話の話がありました。それまで何気なくしていた手話が実はとんでもない誤解を招くおそれがあることにビックリしました。その後、憲太郎様から生い立ちや今ではあまり見られなくなった昔の手話表現をユーモアたっぷりに講演して頂きました。アトラクションは地元ダンスチームのダンスと唐津聴覚障害者協会が制作した聴覚障害者を助けるヒーロー(パロディー?)もの超大作短編映画「スーパーデフマン」。「スーパーデフマン」は期待した以上に面白い作品でした。劇場公開も近いかも?

鹿児島県

第26回 手話で話そう県民の集い

日時 2月17日 日曜日

場所 鹿児島市中央公民館

午前 第1部 式典・記念講演

午後 第2部 アトラクション

第一部の式典では、祝辞に続き、宣言、決議を力強く提唱されました。



記念講演:早瀬憲太郎氏「手話って素晴らしい」

奈良県の早瀬さんの生家は、東大寺から800メートルのところにあるそうです。(母親の)おじいちゃん・おばあちゃんと、自分が、ろう者。おとうさん・おかあさんと妹が、聴者つまり、「ろう者3人、聴者3人」の6人家族だったそうです。早瀬さんは、そんな家庭の中で、ろう者と聴者の違いをいろいろ見てきました。その様子を、コントのように面白く話してくれました。



午後のアトラクションでは、マジックショー、一人劇、国際大学生のダンスなど、楽しい一日を過ごすことが出来ました。

最後に、次期開催地、指宿に引き継ぎ式を行い終了しました。

鹿児島県手話サークル連絡協議会

一日研修会

裁判員制度について学びました

日 時 11月25日 日曜日
 時 間 10:00~15:00
 場 所 鹿児島聾学校 図書室

- 内 容 1 . 講 演
- 2 . 質 疑 応 答
- 3 . 模 擬 裁 判

裁判所から担当者に来ていただき、分かりやすく説明していただいた後、ビデオをみたり、模擬裁判をやったりし、具体的に学ぶことが出来ました。
 (鹿児島県 H.S)

第57回全九州ろうあ者大会
 第36回全九州手話通訳者研修会
平成20年9月5日(金)~7日(日)熊本開催!
 大会テーマは
「人間の尊厳・平和なくらし・・・そして夢を!!」

参加申込方法

所定の申込み用紙により、平成20年7月5日まで、所属の団体に参加料を添えて申し込んでください。

県の聴覚者団体は、別の集計申込書にて、平成20年7月10日まで、熊本大会の実行委員会事務局(財団法人熊本県ろう者福祉協会)に申し込んでください。

特別セミナー(JDF関係)を開催

「国連障害者の権利条約」は、単に聴覚障害者だけの問題ではなく、全ての身体障害者の権利に関わる大切なものであるため、JDF(Japan Disability Forum「日本障害フォーラム」)を地域にも組織して取り組む必要がある。このためのステップとして行います。なお、聴覚障害者以外の障がい者でも参加できます。

各県の聴覚者障害者協会宛てに「ご案内」を送付しております。ご確認ください。

編集後記

桜の花が咲いている時にとおもっていましたが、初めての広報担当で不慣れなため、遅くなってしまいました。皆さんにご迷惑おかけしましたことお詫び申し上げます。

サークル実態調査アンケート、これからのサークルの指針の参考になると思います。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

